

# 行革甲子園の取組について



愛媛県イメージアップキャラクター  
みきゃん

愛媛県 総務部

総務管理局 市町振興課

[はじめに①]

# 愛媛県における県・市町連携の推進

背景

地方分権の進展

市町村合併の進展

厳しい財政状況

組織の垣根を越えた「チーム愛媛」としての連携が必要

平成22年度 **県・市町連携推進本部** 設置

(構成: 知事、全20市町長)

**連携施策の創出・実行**

(平成23以降、毎年度「連携推進プラン」を作成)



242項目に及ぶ**連携施策**を創出

## 【はじめに②】

# 愛媛県における県・市町連携の成果

### 主な成果

【H24】税務職員の相互併任



○個人住民税の滞納繰越額の削減！  
(H24～R2年3月末の累計効果額：約2億7千万円)

【H25】建設工事等の入札契約  
業務



○個別システムの開発・運用に比べ年間4,000万円減！  
○入札参加者にとっての利便性の向上に！

【H27】橋梁やトンネル等の点検  
の県による一括発注



○県が一括発注し、市町の人員不足等の課題を解決  
(R元年度受託施設数：110)

【R元】(防災・減災)平時からの  
カウンターパート 関係の構築



○平時から「顔の見える関係」を構築し、相互に理解を  
深め、発災時の迅速かつ的確な支援に！

更なる効果として

県・市町間で“連携の意識”が醸成

愛媛県独自の強みに！

# 「行革甲子園」とは

県と市町の強固な連携関係を生かし、行革を推進するための  
地方公務員によるイノベーションコンテスト  
＝「行革甲子園」

## きっかけ

- **知事の発案**  
「行政改革に終わりなし」

## 開催方法

- **隔年開催**@愛媛県松山市  
行革甲子園自体も進化を追求

## 狙い

- **行革は未来志向の取組であることを共有！**  
「削る」「切る」などの後ろ向きに捉えられがちだが、明日への力を得るための手段という位置付けにすれば、極めて前向きな取組
- **「チーム愛媛」で高め合い、愛媛全体の行政力UPへ！**  
情報を共有しお互いが刺激し合い、自らも取り入れる

# 「行革甲子園2022」審査員・評価のポイント

小西先生には、第1回から長きにわたり審査員長をお引き受けいただき、大変お世話になりました。

## ○審査員

応募事例から審査員による1次審査(書類)を通過した8団体について、当日の最終審査を経て表彰

|                   |       |               |
|-------------------|-------|---------------|
| (一財)地域活性化センター理事長  | 椎川 忍  | 審査員長<br>外部審査員 |
| 愛媛大学法文学部准教授       | 太田 響子 | 外部審査員         |
| 有限責任監査法人トーマツパートナー | 小室 将雄 | 外部審査員         |
| 東洋大学国際学部国際地域学科教授  | 沼尾 波子 | 外部審査員         |
| 株式会社未来戦略研究所 代表取締役 | 根本 昌彦 | 外部審査員         |
| 愛媛県知事             | 中村 時広 |               |

## ○評価のポイント

「創(そう)」「効(こう)」「種(しゅ)」の3拍子に加え、プレゼンテーションの内容を評価

|           |   |
|-----------|---|
| 創(そう・走)   | 創意工夫あふれる取組か、独創性・先進性があるか                 |
| 効(こう・攻)   | 費用対 <u>効果</u> の高い取組か                    |
| 種(しゅ・守)   | 他にアイデアの <u>種</u> を提供する取組か(他の自治体に広がる取組か) |
| プレゼンテーション | 取組の意図や内容がよく伝わるプレゼンであったか                 |

# 「行革甲子園」の波及効果

発表事例

発表事例を**県内全市町**で横展開！

波及事例

【西予市】(第1回大賞)  
若手職員行革チームの設置



【東温市】  
部局横断的な若手職員グループを設置し施策提案を実施

【今治市】(2014大賞)  
公の施設の評価・あり方方針の策定



【宇和島市・八幡浜市・上島町】  
公共施設の管理運営方法の検討にあたって参考に

【北海道北見市】(2016グランプリ)  
「書かなくていいの？」(窓口改革)



【今治市・内子町・松野町】  
来庁者の利便性向上を目的に窓口の申請手続等の見直しを検討

【茨城県つくば市】(2018発表事例)  
「RPAを活用した共同研究」



【松山市・八幡浜市・新居浜市】  
RPA活用業務の選定など、導入の検討にあたって参考に

『チーム愛媛』で刺激し合い、  
愛媛全体の行政力の底上げへ

そのほか、大会後に行革事例集を作成し、《愛媛発》で全国に発信！



# 県内版「行革甲子園」の開催状況

## 第1回 行革甲子園

H24

- ◇参加 **300人**
  - ◇応募 **県内全20市町から64事例**
  - ◇概要
    - ・6事例の発表・審査
    - ・福岡県大野城市が参考発表
  - ◇大賞 **西予市**  
若手職員行革チームの設置
- ※全国知事会から優秀政策表彰(H25)

## 第2回 行革甲子園2014

H26

- ◇参加 **350人**
- ◇応募 **県内全20市町から46事例**
- ◇概要
  - ・6事例の発表・審査
  - ・四国他県の3団体が参考発表
- ◇大賞 **今治市**  
「公の施設の評価」等の策定



知事・市町長による意見交換(第1回)



# 全国版「行革甲子園2016」の開催状況

愛媛県内にとどまらず、  
募集を全国に拡大！

- ・ 日 時 平成28年11月1日(火) 12:30~17:00
- ・ 出席者 **350人**(全国の自治体職員・議員、学生等。うち県外60人)

## 【第1部】基調講演

講師 岡田 武史氏

(株)今治・夢スポーツ代表取締役

(公財)日本サッカー協会副会長

演題「勝つための組織づくりとサッカーによる地域振興」

## 【第2部】書類審査で選ばれた8団体によるプレゼンテーション



岡田武史氏による講演

◇応募数 全47都道府県110市町村から**104事例**

◇グランプリ **北見市(北海道)**  
「書かなくていいの？」  
～証明書の申請をかたん・スピーディに～



プレゼンテーション



# 全国版「行革甲子園2018」の開催状況

国内にとどまらず、  
海外にも視野を拡大！

- ・ 日 時 平成30年8月30日(木) 12:30～17:00
- ・ 出席者 **400人**(全国の自治体職員・議員、学生等。うち県外100人)

【事例発表】書類審査で選ばれた8団体によるプレゼンテーション

【特別企画】**台湾・台北市**による事例発表

「台湾版スピード決裁～明確な役割分担と権限移譲の徹底～」

◇応募数 全47都道府県117市区町村から**141事例**

◇グランプリ **松山市(愛媛県)**

「窓口一本化の保安指導で防災体制を強化」(新規財源の確保)

◇審査員長特別賞

・ **西粟倉村(岡山県)**

「『百年の森林構想』と『ローカルベンチャー』による地域資本の価値向上への取組」

・ **三条市(新潟県)**

「住民の血税を考えれば共同化をやらない理由はない！」  
～各種情報システムの共同化と新たなサービスの実現～

副賞は砥部焼  
の楯



グランプリ受賞者と小西先生



台北市による事例発表

# 全国版「行革甲子園2020」の開催状況

ピンチはチャンス！  
コロナ禍でもデジタルを  
駆使して開催

- ・ 日時 令和2年11月13日(金) 12:30~17:00
- ・ 出席者 **210人**(全国の自治体職員・議員、学生等。うち県外45人)

【事例発表】書類審査で選ばれた8団体によるプレゼンテーション

【特別企画】**韓国・ソウル市**による事例発表

「市民の通信基本権及び未来スマート都市インフラ構築のための  
S-Netと「カッチオン」サービス開始  
～スマートソウルのデジタル転換のための新しい道が開かれます。～」

◇応募数 全30都道府県60市区町村から**73事例**

◇グランプリ **苅田町(福岡県)**

「地理情報システム(GIS)導入による業務効率化に関する  
苅田町の取組について」～職員自ら構築した水道管路マップを  
始めとした業務効率化の取り組み～

◇審査員長特別賞

・**所沢市(埼玉県)**

「下水道マンホール蓋を活用した有料広告事業の取組」

・**三条市(新潟県)**

「全国初！町内全域自営LPWA 通信網の整備」～携帯電話の圏外からでも  
正確な位置情報を伴った救助要請が可能に～

◇オンライン投票1位 **所沢市(埼玉県)**



県内首長による札上げ  
(感染対策のマスク着用と  
一席間隔の座席)



ソウル市による事例発表  
(オンライン)

# 全国版「行革甲子園2022」の開催状況

グランプリは一体、、、？

- ・ 日時 令和4年8月26日(金) 12:30～17:00
- ・ 出席者 **150人**(全国の自治体職員・議員、学生等。うち県外39人)

【事例発表】書類審査で選ばれた8団体によるプレゼンテーション

【特別企画】**オードリー・タン 台湾デジタル担当大臣**による事例発表

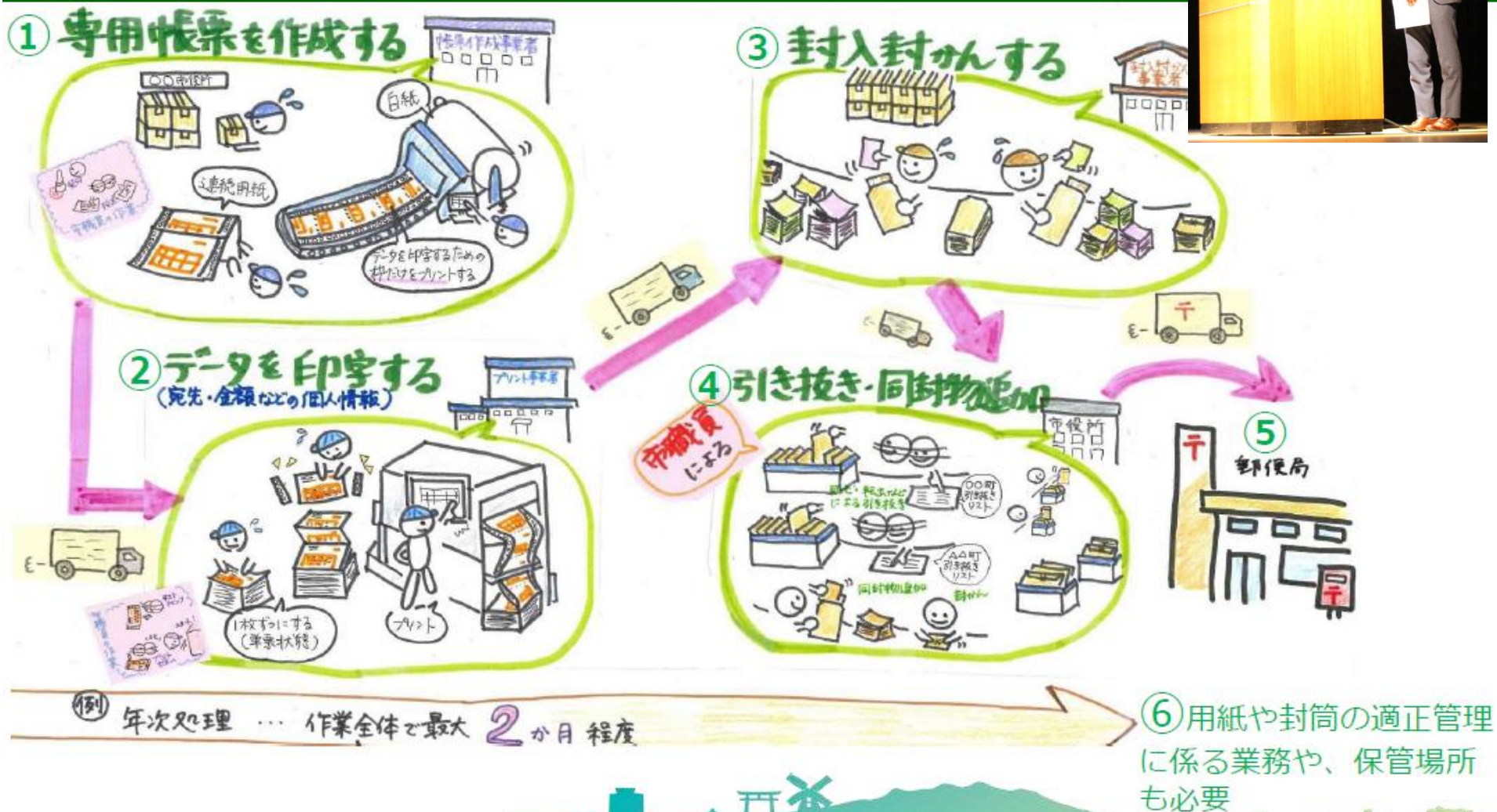
「台湾におけるデジタル化の取組みについて」

| 発表順 | 市区町村名     | 事例名   |
|-----|-----------|---|
| 1   | 前橋市(群馬県)  | 印刷BPO～職員を紙作業から解放する～                                 |
| 2   | 山形市(山形県)  | 全国初！連携中枢都市圏連携事業による広域炊飯施設の整備<br>～共通課題をスピード解決～        |
| 3   | 座間市(神奈川県) | 循環型社会実現に向けた「廃棄物・資源物収集のDX」                           |
| 4   | いわき市(福島県) | いわき版MaaS推進プロジェクト「行政MaaS」<br>～出張行政サービス「お出かけ市役所」の取組み～ |
| 5   | 別府市(大分県)  | RPAを活用して3年、職員の負担軽減、年間6,000時間までの道のり                  |
| 6   | 茂木町(栃木県)  | 地方公務員が一般社団法人を設立して町の財源を生み出す                          |
| 7   | 日南町(鳥取県)  | 脱炭素で地域事業者のサステナブル経営を後押しする<br>SDGs未来都市の挑戦             |
| 8   | 西予市(愛媛県)  | 働き方改革を実現するオフィスの空間づくり<br>～withコロナ時代における自治体経営改革～      |



# 行革甲子園2022 ①前橋市(群馬県)

## ・印刷BPO(Business Process Outsourcing)導入前



# 行革甲子園2022 ①前橋市(群馬県)

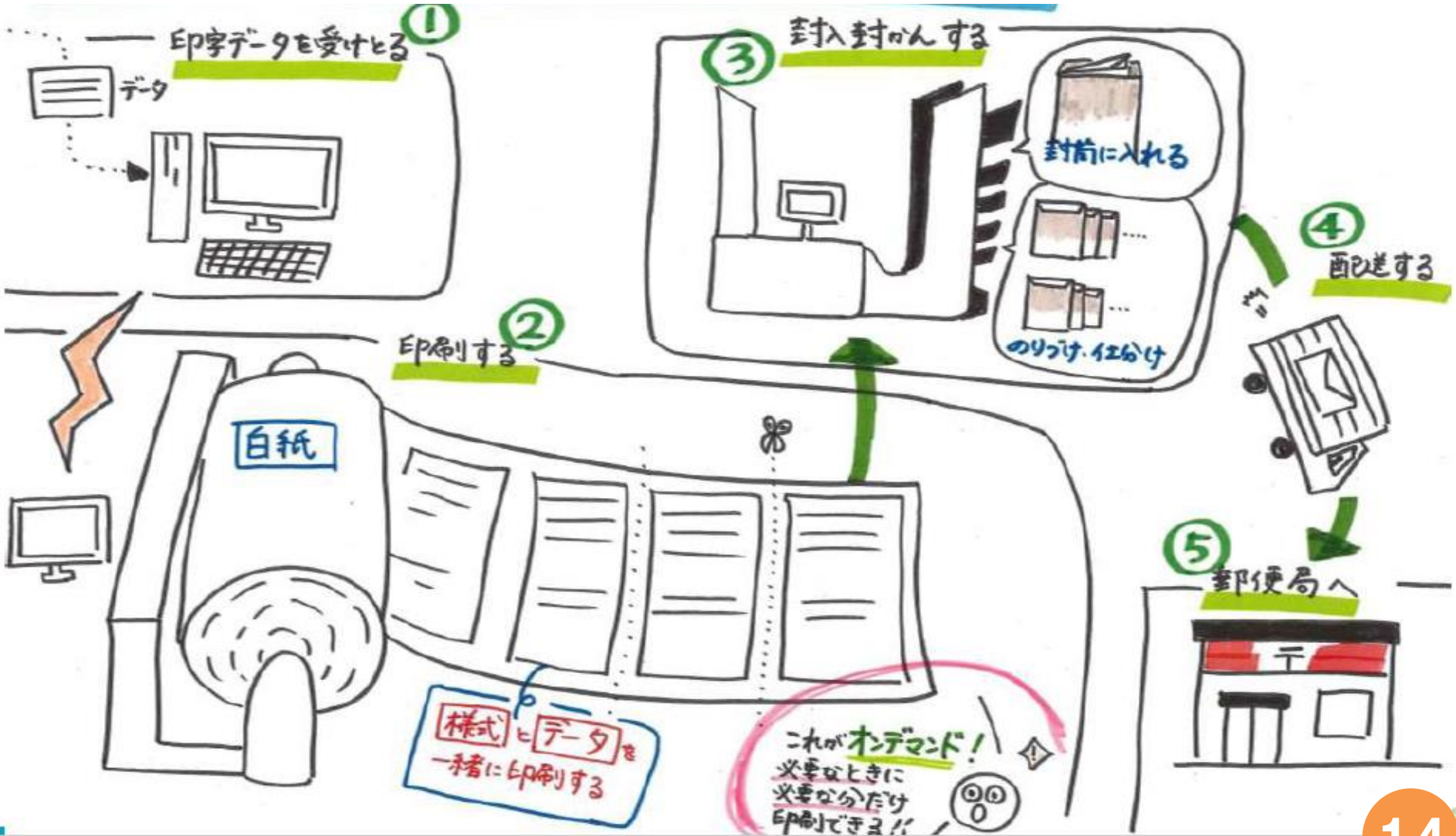
## ・印刷BPO導入による変更点





# 行革甲子園2022 ①前橋市(群馬県)

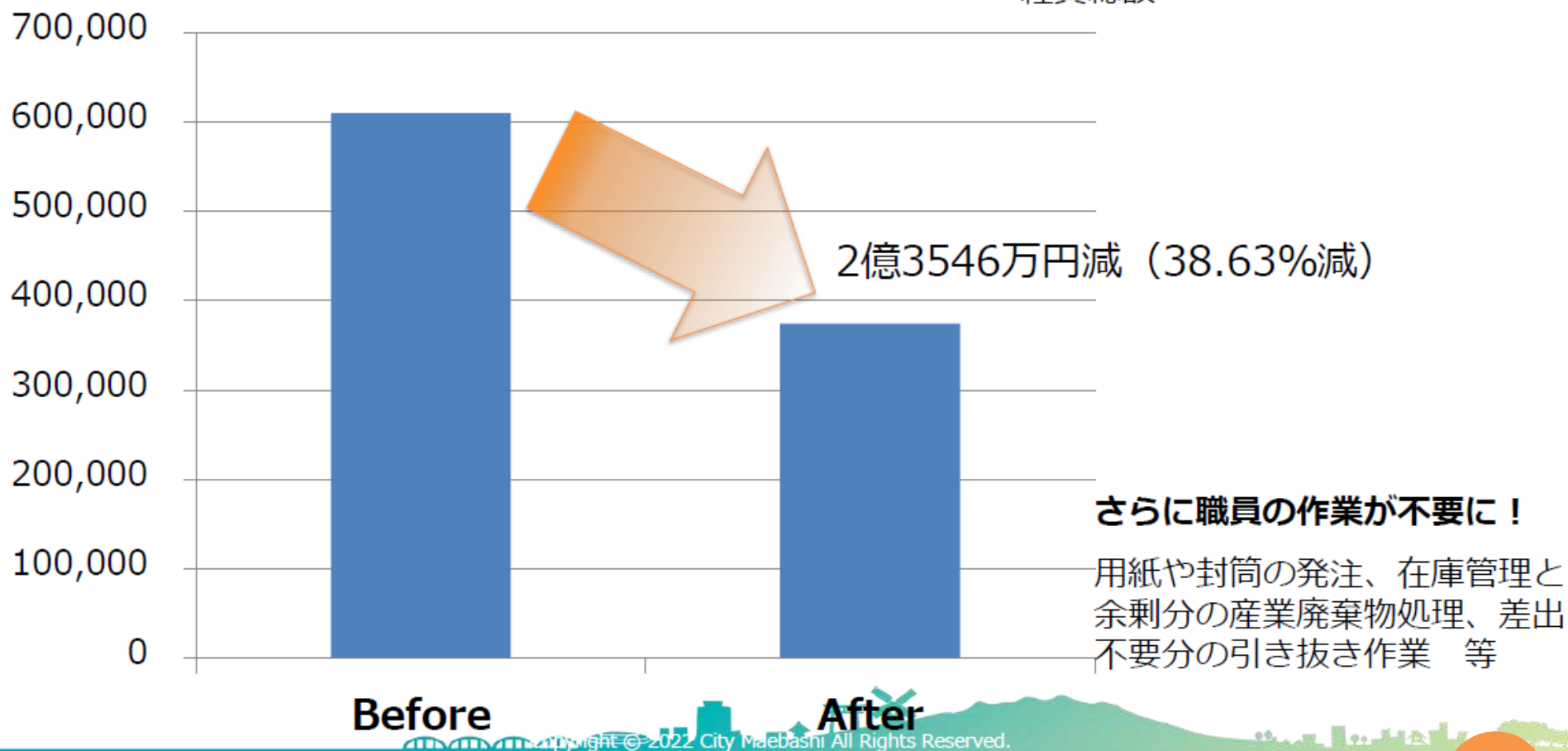
・印刷BPO導入後、職員は、データの入力・確認・送信だけでOKに



# 行革甲子園2022 ①前橋市(群馬県)

・前橋市と伊勢崎市と併せて6億6225万円削減(▲49.7%)

前橋市 5年間(64帳票) 経費総額(千円) ※用紙、封筒、印字、封入封緘に係る経費総額







## 全国初！ 連携中枢都市圏連携事業による 広域炊飯施設の整備 ～共通課題をスピード解決～



## 行革甲子園2022 ②山形市(山形県)

・各炊飯施設の老朽化を背景に、連携事業として、広域炊飯施設を新しく整備

### 事業のポイント①

創・効・種



1. **全国初**の連携中枢都市圏連携事業による広域炊飯施設の整備を行い、米の消費拡大、地産地消、地場産業の育成・持続、学校給食への異物混入等の圏域共通の課題を共同施設建設を含め、**2年**という期間での**スピード解決**を図ることができた
2. 新たな施設を建設したにもかかわらず、学校給食用米飯を安全・安心でおいしく、**従来よりも安価**に提供することができた

## ・コストカット以外の効果も創出

### 事業のポイント②

創・効・種



3. 学校給食用米飯の購入費用が8市町全体で、**年間約1,200万円の減額**となり、物価高騰などでおかずに係る費用が増額になるなか、学校給食費の**値上げをせずにおかずの充実**を図ることができた
4. 少子化などによる食数の減の影響により、経営が逼迫していた炊飯事業者が、協同組合を設立し**安定的に経営**できるようになった



## ・財源確保とコストカットも徹底

### 事業のポイント③

創・効・種



5. 施設の有効活用により独自の事業を行うことを認め、炊飯事業者は、**収益を拡大**させ安定経営が図れるようになったほか、施設使用については目的外使用料を徴収することとし8市町の**負担を減少**させることができた
6. 連携事業として実施したことにより、建設には地域活性化事業債を活用することができ、普通交付税措置が**約3.2億円**、維持管理には特別交付税措置により8市町全体で**年間約1,000万円の削減**につながった

# 行革甲子園2022 ③座間市(神奈川県)

## ・啓発事業により、廃棄物の減量化・資源化に尽力



### これまでの振り返り

- Circular Economy  座間市  
ZAMA CITY

創成期・発展期 ～平成30年度(2018年度)

平成24年度、新聞古紙や金属類などの持ち去りが横行、市民の身体被害にも及んでいたことから本庁事務職員も体を張って連日早朝パトロールに従事していた。この間、クリーンセンターに立ち寄る機会も相応に増え、**本庁職員と現業職員の交流が進んだ。**やがて、担当職員達の熱意によって啓発事業や塵芥車のラッピングが実現した。

可燃 22,824 → 20,610ト 2,214ト減  
容プラ 1,043 → 1,116ト 73ト増



平成25年度導入  
ざまりんパッカー1号車  
(フルラッピング・コンセプトカー)



デザインは現業職員が行い、通常の架装費用の範囲でラッピングすることができた。

当初は懐疑的だった幹部職員も、市民や議会の評判が上がるにつれ、市の事業として認めるようになった。また、すぐに効果がでないことは明白であったが、継続してやり続けたところ、交通事故は起こせない意識から「無事故2000日」を達成し、新聞などで取り上げられた結果、更に市民の認知や好感度を増し、やがて減量化・資源化の成果として現れるようになった。



# 行革甲子園2022 ③座間市(神奈川県)

## ・テクノロジーの導入により、更なる廃棄物減量化を模索

### これまでの振り返り

- Circular Economy  座間市  
ZAMA CITY

コロナ禍 ～令和元年度・2年度(2019・2020年度)

平成30年の暮れ、廃棄物減量化モデルの実証フィールドとなる自治体を探していた小田急電鉄(株)と出会った。意気投合し、令和元年6月に「サーキュラー・エコノミー推進に係る連携と協力に関する協定」を締結。



|     |        |   |         |       |
|-----|--------|---|---------|-------|
| 可燃  | 20,610 | → | 21,008ト | 398ト増 |
| 容プラ | 1,116  | → | 1,256ト  | 140ト増 |



同社から「ごみゼロカードゲーム」を使った環境教育プログラムや貸出用のリユース食器の提供を受ける一方で、「WOOMS」の開発に必要な収集データの提供などを行っていた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大によって、啓発事業を含め、中止や延期を余儀なくされた。



それでも、感染予防に努めながら継続して必要なデータを集め、日本に合わせた作業認識機能などを開発。令和2年8月、「WOOMS」を実際に車両へ搭載しての実証実験が始まった。

# 行革甲子園2022 ③座間市(神奈川県)

## テクノロジー “WOOMS”

- Circular Economy  座間市  
ZAMA CITY



“ごみ”のない世界へ。  
*Beyond Waste*

集積所・収集コース等の基本データを登録。  
収集職員は、収集車に搭載したタブレットのデジタル地図を活用し収集を実施する。  
また、タブレットは自動で収集データを取得し、同時に可視化することで、  
管理者・収集職員が、リアルタイムに全体の収集状況を把握することが可能になっ  
た。



Resource and Waste Management Section



# 行革甲子園2022 ③座間市(神奈川県)

## ・廃棄物の減量化・資源化とともに、事務の効率化も実現

### 効果・実績・費用

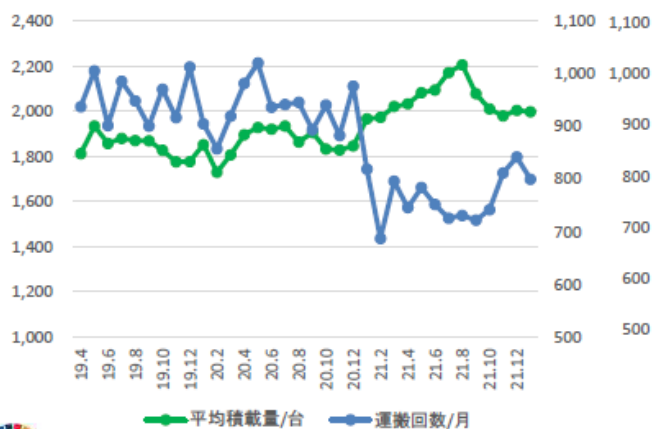


2020年9月から実証実験をスタート。2021年1月には全車両にシステムを搭載して活用することで車両の平均積載量を引き上げ、運搬回数を大幅に削減した。そして、創出された余力と波状収集の実現により、燃やすごみに含まれていた剪定枝等草木類の完全リサイクルにより、更に焼却量を削減。

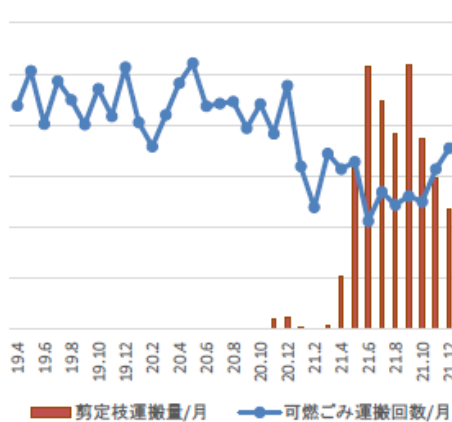
↓導入前 2019年度(令和元)との比較

| 2021年度          | 車両の平均積載量                                    | 運搬回数  | 剪定枝リサイクル量                     | 焼却処理量   |
|-----------------|---|---|-------------------------------|---|
| システム実装後<br>年度実績 | <b>+11.6%</b><br>1,834kg→2,047kg<br>213kg 増 | <b>-16.3%</b><br>11,266回→9,427回<br>1,839回 減 | <b>800 t</b><br>166 t → 966 t | <b>-6.7%</b><br>20,788 t → 19,378 t<br>1,410t 減 |

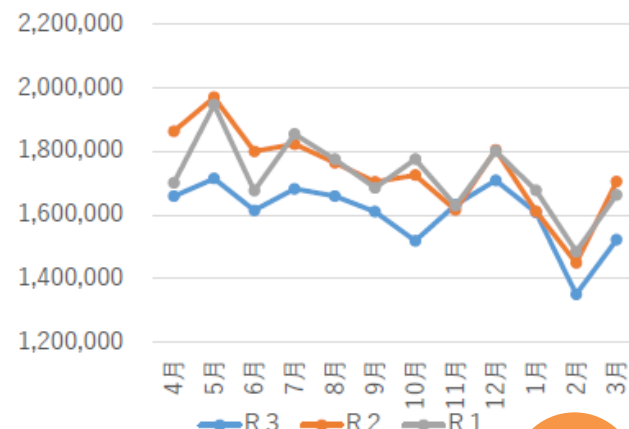
平均積載量の引き上げによる余力創出



余力を活用した剪定枝回収



焼却量年度比較



# 行革甲子園2022 ④いわき市(福島県)

・運転免許証の返納や公共施設の統廃合で、  
不便な状況になっていた



## 1 背景・課題



### 自家用車依存の都市構造

自動車分担率が中核市でトップ

| 順位  | 自治体名 | 自家用車分担率 | 就業・通学者  |         |
|-----|------|---------|---------|---------|
|     |      |         | 総数      | 自家用車利用者 |
| 1位  | いわき市 | 76.6%   | 154,814 | 118,520 |
| 2位  | 富山市  | 74.3%   | 209,837 | 155,796 |
| 3位  | 前橋市  | 72.5%   | 159,831 | 115,866 |
| 4位  | 八戸市  | 72.3%   | 109,464 | 79,138  |
| 5位  | 高崎市  | 71.3%   | 170,902 | 121,854 |
| 7位  | 郡山市  | 69.1%   | 146,116 | 100,993 |
| 10位 | 宮崎市  | 66.1%   | 185,604 | 122,748 |
| 20位 | 長野市  | 61.5%   | 186,878 | 114,949 |
| 30位 | 和歌山市 | 49.9%   | 163,127 | 81,480  |
| 40位 | 横須賀市 | 23.4%   | 185,210 | 43,317  |
| 46位 | 尼崎市  | 14.5%   | 208,728 | 29,684  |



### 公共交通機関徒歩圏カバー率の低下

全国平均に比べ、公共交通による人口カバー率が著しく低い

| 自治体  | カバー率  | 人口        |
|------|-------|-----------|
| いわき市 | 22.9% | (78,375人) |
| 全国平均 | 55%   |           |

人口減少 → 利用者の減少 → 鉄道・バスの運行本数の減少 → 更なる利便性の低下  
といった悪循環が懸念されている。

# 行革甲子園2022 ④いわき市(福島県)

・デジタル技術の活用による、交通等の生活の利便性向上と地域活性化を目指す

## 3 いわき版MaaS推進プロジェクトの取組み



### いわき版MaaSの主な取組み

#### 観光MaaS

ヒトの移動

観光移動に対応した  
タクシー配車アプリ  
の導入等



#### おつかいMaaS

モノの移動

地元スーパーと連携し  
宅配サービス実施に向  
けたシステムの導入



#### 行政MaaS

サービスの移動

出張行政サービス  
『お出かけ市役所』  
の実施





# 行革甲子園2022 ④いわき市(福島県)

## 行政MaaSとは

中山間地域等において、行政サービスの利便性向上を図るため、遠隔相談や証明書類発行機能等を搭載したマルチタスク車両を活用し、出張行政サービス「お出かけ市役所」の実証を行うもの

- ・R2年度:実施期間 R3.1~R3.3
- ・R3年度:実施期間 R3.11~R4.3
- ・R4年度:実施期間 R4.10~R5.3 予算額 6,913千円(財源:ふるさと納税を活用)

### マルチタスク車両の活用

- ・用途に応じた車内環境の変更
- ・オンライン通信環境搭載
- ・地域イントラネット環境搭載

### 出張行政サービス

- ・住民票、税証明等の発行
- ・マイナンバーカード新規申請
- ・各種相談業務
- ・総合防災訓練
- ・模擬選挙 など



移動型の同一車両で複合的に行政サービスを提供する取組みは全国初

# 行革甲子園2022 ④いわき市(福島県)

## ・利用者からは、便利で安心との声が寄せられている

### 各種証明書等の申請受付・交付



- 住民票や印鑑証明書、各種税務証明書、資産証明書、大型ごみ収集手数料納付券交付などの申請受付及び交付
- マイナンバーカードの新規申請受付

移動手段の確保等が困難な市民の利便性向上

7

### 市総合防災訓練



- 被災地想定の地区防災組織と災害対策本部との連絡調整、支援物資の配布等の訓練を実施

被災者のニーズ等を迅速かつ的確に把握  
現地対策事務所の代替機能の役割も

10

### 各種相談業務（遠隔手話相談、栄養相談等）



- 母子健康相談や特定保健指導、福祉相談、手話通訳相談、地元スーパーと連携した栄養・健康相談などを実施

オンラインで相談員が本庁等から対応することで、相談者、相談員双方の移動の負担を軽減し、利便性、効率性が向上

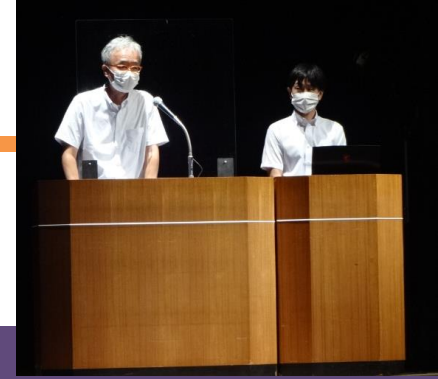
### 中学生による模擬選挙



- 市選挙管理委員会とオンラインでつなぎ、実際の選挙と同じ手順で模擬選挙を実施

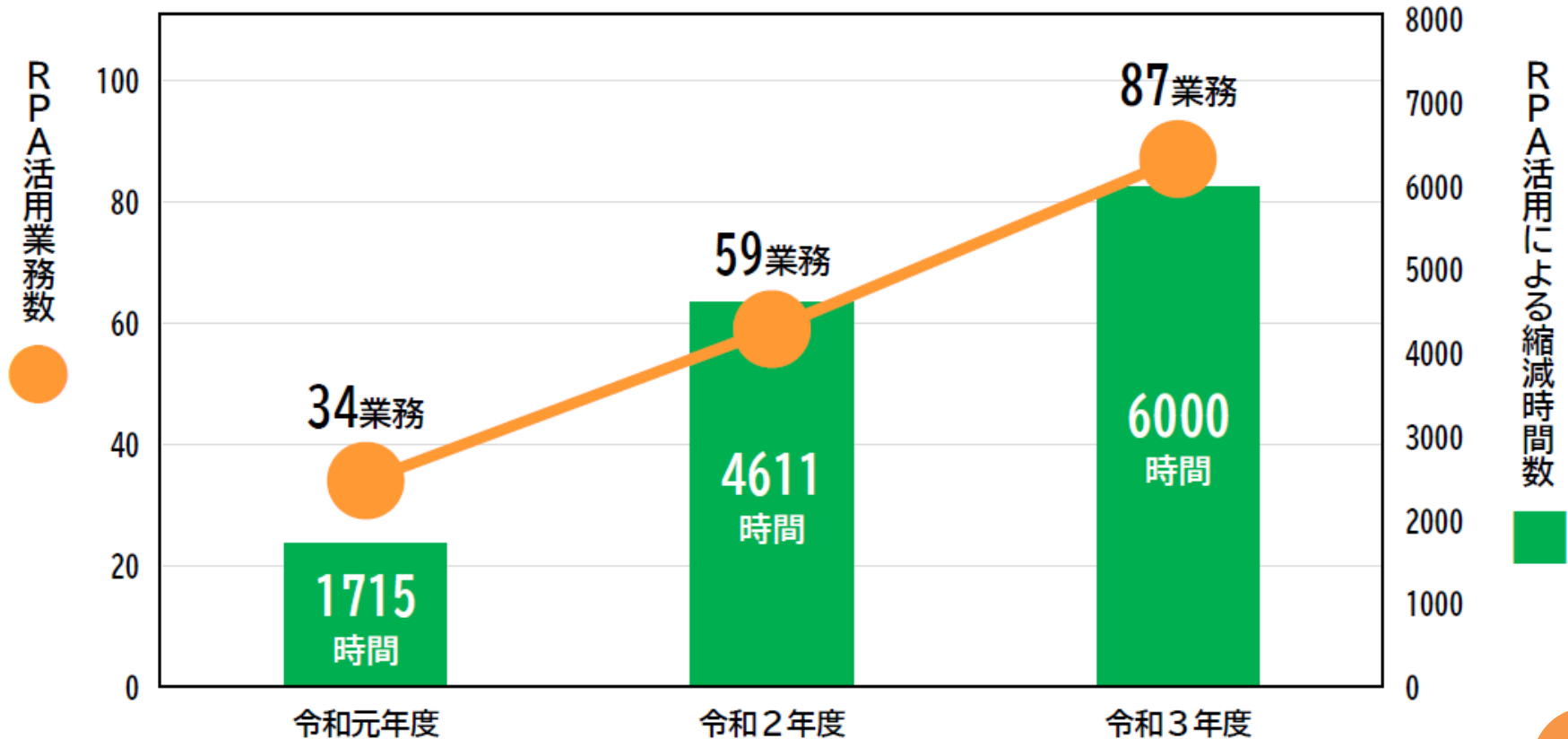
将来的に選挙の移動投票所としての活用を想定

# 行革甲子園2022 ⑤別府市(大分県)



・RPAの導入により、作業時間を6000時間縮減

## RPAの活用状況 令和3年度末時点



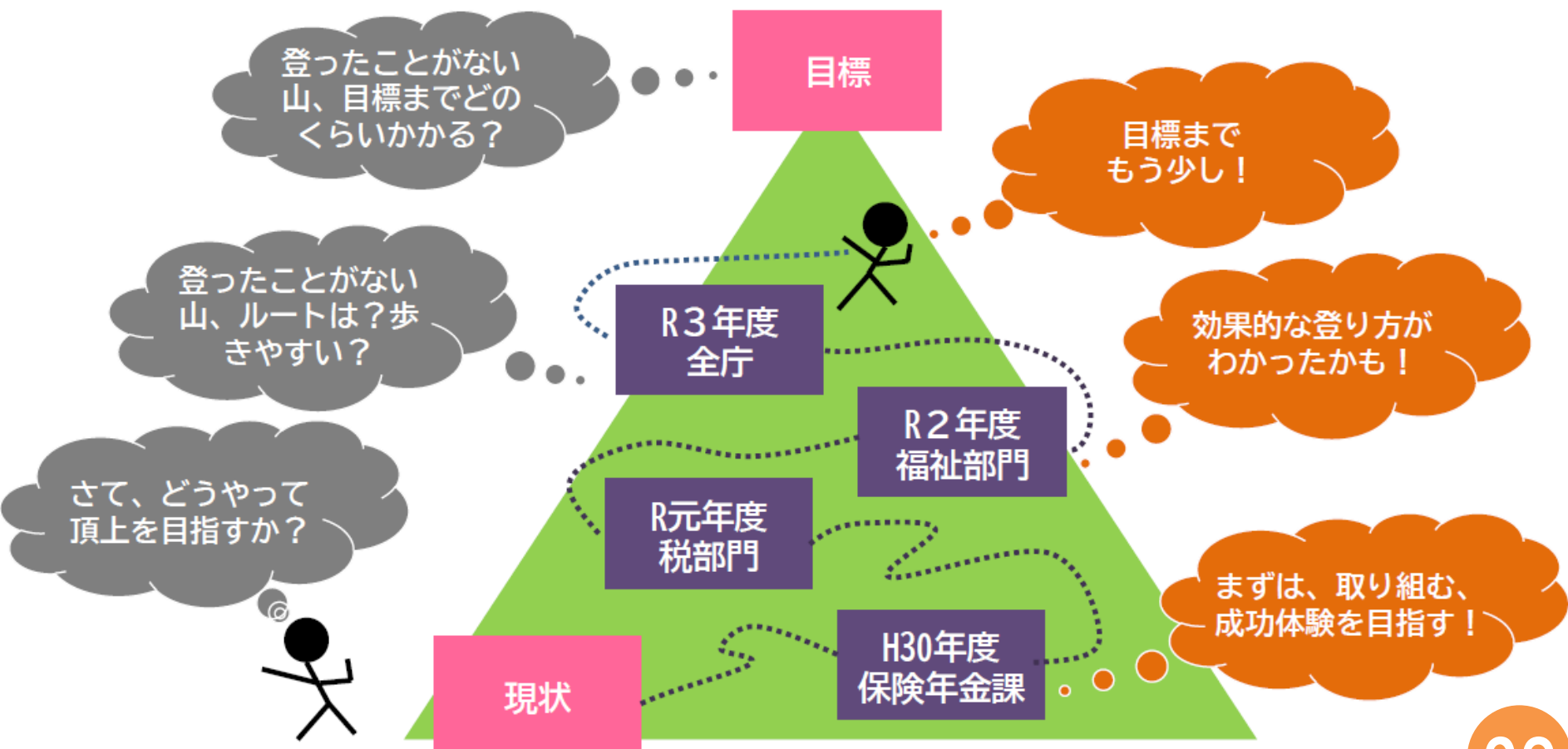


# 行革甲子園2022 ⑤別府市(大分県)

・ポイントは5つ！

## ポイント1

### 徐々に頂上を目指す





# 行革甲子園2022 ⑤別府市(大分県)

## ポイント2 導入を予定する課の職員全員に説明を行う



説明

要望・  
ヒアリング

作成

運用

- RPAの機能を正しく理解してもらう
- 自分が行っている業務にRPAを活用すると仕事が楽になるのか?と考えてもらう

## ポイント4 まずは、内製で



説明

要望・  
ヒアリング

作成

運用

- メリット① スピード感
- メリット② 費用対効果
- 内製を支える① 人材育成の仕組みづくり
- 内製を支える② 作業のルール化
- 委託企業の支援が受けられる体制も必要

## ポイント3 情報部門へ直接要望する



説明

要望・  
ヒアリング

作成

運用

- 対象の部署での導入事例を早く作りあげる
- 稼働状況を見るとRPAの理解が深まる
- 要望があったものはすべて対応していく

## ポイント5 正しい運用を継続できる仕組みづくり



説明

要望・  
ヒアリング

作成

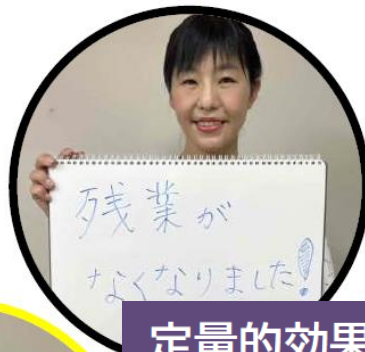
運用

- 担当者が変わっても正しい処理を持続できるように運用時のルール作り
- RPAの正しい処理のために、事前の確認、事後の確認が重要

# 行革甲子園2022 ⑤別府市(大分県)

・定型業務はRPAが当たり前に。費用対効果も良し。

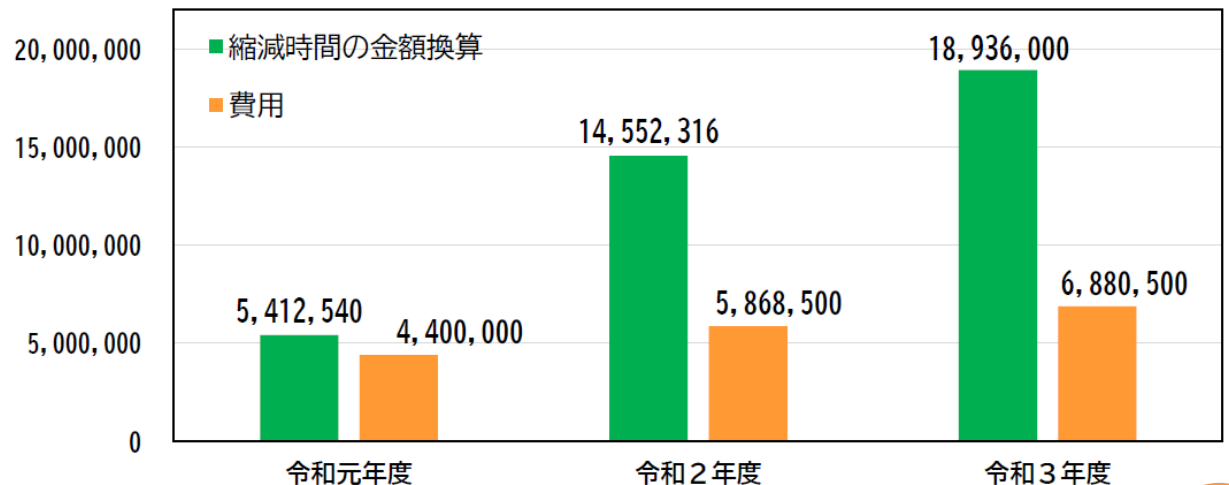
定性的な効果と心理的な効果



定量的効果



費用対効果額 **21,751,856** 円 (換算 効果額38,900,856円, 費用額17,149,000円)



【効果】一人当たりの給与額の時間単価3,156円(令和2年度 別府市人事行政の運営等の状況について)  
【費用】RPAのライセンス費用、RPAシナリオの作成、問い合わせ対応などの委託費用

# 行革甲子園2022 ⑥茂木町(栃木県)



放牧黒毛和牛農家がいるが、商品化出来ていない



自ら考えて起案した文書に対して、上司がやらない理由を突きつけてきた

私たちが良いと思った事業を、職場の決裁なしで実行できる組織を作りたい





## 地方公務員法第 38 条

営利事業などに従事することに関する規定

職員は、任命権者の許可を受けなければ（中略）自ら営利を目的とする私企業を営み、または報酬を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。

# 行革甲子園2022 ⑥茂木町(栃木県)

## 取組概要

地域商社「一般社団法人Social Up Motegi」は茂木町役場有志4名により令和2年4月1日に設立した非営利の一般社団法人である。現在は趣旨に賛同してくれた仲間も増え、10名で業務外の取組として活動している。設立費用はクラウドファンディングで獲得し、国・県・町から運営費の補助金や資本提携はなし。

## 取組の効果

初年度は茂木町産木材と茂木町産和牛のブランディングプロデュースと販売を実施し、総売上は約300万円で純利益は約12万円、うち6万円を町に寄付をした。

## 創意・工夫した点

法人の「2枚目の名刺」を持つことにより、町職員の立場とは切り離れた経済活動や情報発信などを行うことが可能となりました。当法人の定款は、非営利団体、無報酬であることから、地方公務員法第38条第1項の兼業許可を要しない内容となっており、公務の遂行に支障が生じないように社会貢献活動の一環として活動を行っています。

## 他団体へのアドバイス

町を活性化させたいという同じ志や思いを持つ仲間が必要だと思います。また、新しいことを始めるには様々な弊害があるため、それらの強い思いがある職員をより多く集い、自由に活動できる環境を整えてください。

人口 12,178人 (R4.1.1現在)

担当 総務課



法人設立クラウドファンディング



もてぎ放牧黒毛和牛クラウドファンディング



にちなんちょう  
行革甲子園2022 ⑦日南町(鳥取県)



SDGs未来都市選定 (2019年度)  
2050年ゼロカーボンシティ宣言 (2020年度)  
内閣府・地方創生SDGs金融表彰 (2021年度)  
総務省・ふるさとづくり大賞 (2021年度)  
NIKKEI脱炭素アワード (2021年度)



中国山地のほぼ中央に位置し、面積の9割が森林  
過疎、少子高齢化が進行する「日本の30年後の姿」の町として  
多くの学術機関におけるモデル地域となっています

農林業を基軸として、緩やかな人口減少を実現させる  
町民総活躍の「創造的過疎」のまちづくりへ挑戦しています





# にちなんちよう 行革甲子園2022 ⑦日南町(鳥取県)

行革甲子園2022



## 地方創生・SDGs、脱炭素化に向けた地域事業者との連携



- J-クレジットも含めた、令和元年度SDGs未来都市への申請にあたっての地域事業者を含めて機運醸成
- 地域事業者と行政職員、地域住民等を含めた研修会等の実施
- 国や地方公共団体、経済団体等が主催するセミナーや研修会でも、積極的に町の取り組み事例を発信
- J-クレジット購入企業向けのセミナー等を実施し、企業全体（社員含めて）でのSDGs・脱炭素経営の推進
- 中山間地域における地域金融機関の役割は極めて大きい。積極的な官民連携の橋渡し役として活躍

# 行革甲子園2022 ⑦日南町(鳥取県)

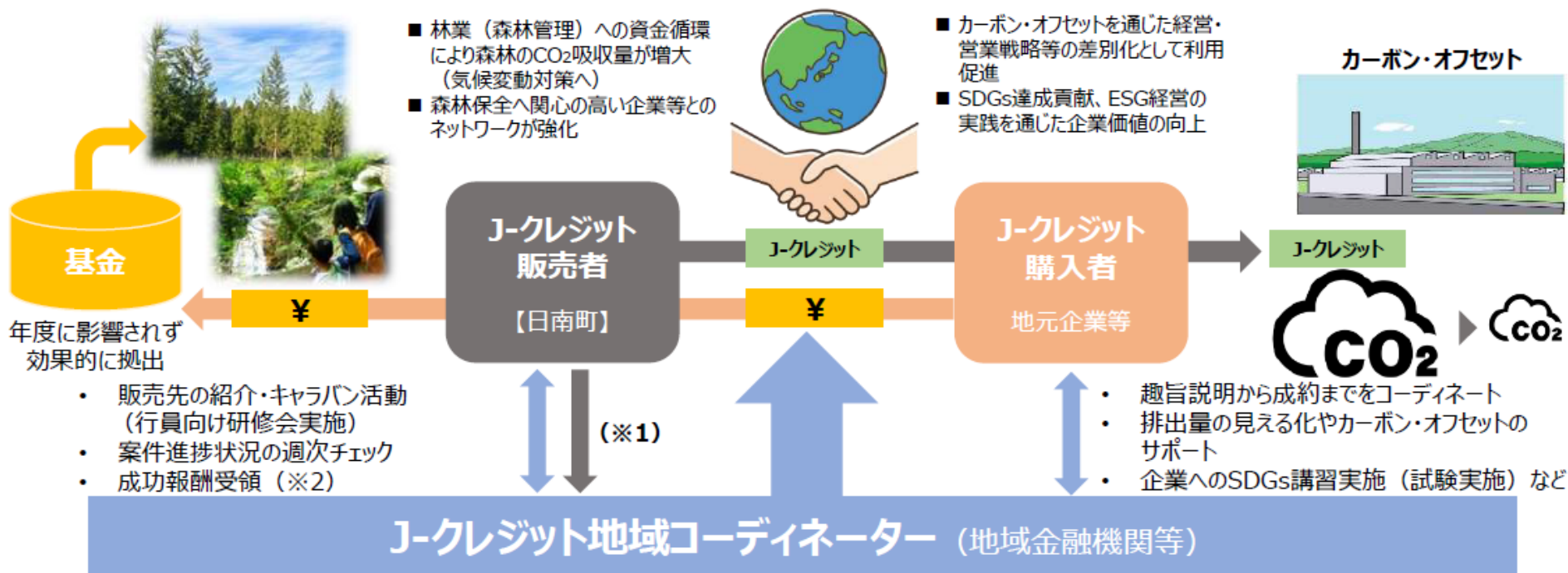
にちなんちよう

行革甲子園2022



## J-クレジット販売促進スキームのご紹介

- J-クレジット制度とは、対象の森林における二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の吸収量を認定し、売買を可能とした制度であり、日南町ではFSC森林認証を受けている日南町有林において、間伐地を対象にクレジットを認証取得。クレジットの売上は林業振興・生態系保全に活用し、持続可能な森林づくりへ充当。



（※1） J-クレジットの販売者（地公体等）と事前に「地域コーディネーター契約」を締結し任命を受け活動【官民協働・実効性】

（※2） 成約となった場合にのみ、販売代金の一部を成功報酬として受領する規定【独自性・持続性】

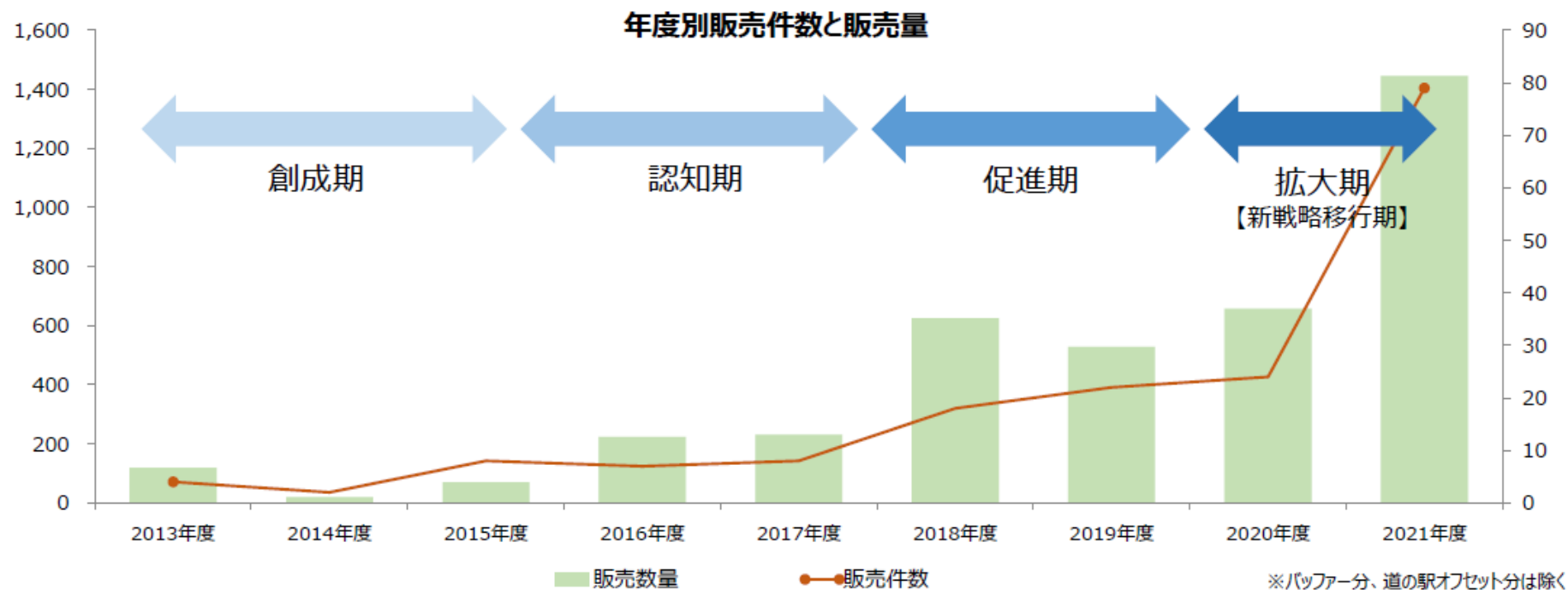
# にちなんちよう 行革甲子園2022 ⑦日南町(鳥取県)

行革甲子園2022



## 日南町有林J-クレジット販売実績

| 年度                          | 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 累計      |
|-----------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 販売件数                        | 4件     | 2件     | 8件     | 7件     | 8件     | 18件    | 22件    | 24件    | 103件   | 196件    |
| 販売量<br>(t-CO <sub>2</sub> ) | 119    | 20     | 70     | 223    | 231    | 625    | 529    | 658    | 1,974  | 4,449 t |







Changeせいよ!  
~西予市におけるオフィス改革~

## 職員 オフィス改革に懐疑的

意味ある?

紙じゃないと無理  
**お金の無駄**

自席がないって?

効果が期待できない

環境を変えたくない

## 市民・議会 オフィス改革ってなに?

Changeせいよ!  
~西予市におけるオフィス改革~

**また庁舎にお金かけるの?**

誰が言いだしたん?

財源は?

なんでやらないといけないのか?  
効果を数字で説明しなさい。

もっとやるべきことがあるやろ!



# 行革甲子園2022 ⑧西予市(愛媛県)

Changeせいよ!  
～西予市におけるオフィス改革～

## 進め方 プロジェクトチームの創設



- 私たちが使う、オフィスのレイアウト
- 新しい空間の使い方
- 普段の働き方の見直し
- 仕事の効率のあげ方
- 理想の働き方



## 進め方 オフィス改革の意義を説明

Changeせいよ!  
～西予市におけるオフィス改革～

- 何度も議会へ説明
- 広報誌で市民へ説明
- 理事者へ説明
- 職員へ説明





# 行革甲子園2022 ⑧西予市(愛媛県)

Changeせいよ!  
～西予市におけるオフィス改革～

平成28年4月

## 進め方 先進地視察(本物にふれる)

●官民連携協定



- 総務省行政管理局
- コクヨ
- Google
- サイボウズ
- 日立
- オムロン
- サントリー e t c



Changeせいよ!  
～西予市におけるオフィス改革～

## 進め方 半強制



抵抗

- レイアウトの変更
- 袖机の撤去
- 会議資料のデジタル化(ペーパーレス化)
- テレビ会議の徹底

無抵抗

- Wi-Fiの整備
- ノートパソコンの導入
- デュアルモニターの導入
- SNSを活用した情報の発信
- PHS電話の導入



# 行革甲子園2022 ⑧西予市(愛媛県)

## 取組の効果

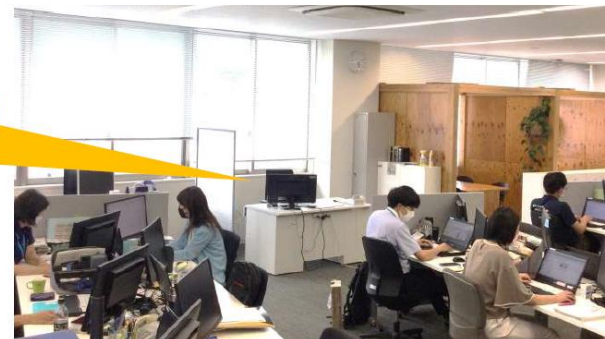
- ペーパーストックレス化に関する全庁的な取組みにより、書類等の保管量は約50%削減を目標に進め、書類削減により新たに創出されたスペースはミーティングスペース等に有効活用。
- Wi-Fi環境の整備により、理事者協議等の会議について「ペーパーの完全廃止」が実現し、日常的な打合せについて「ノートパソコンを持ち寄り、空きスペースでどこでも可能」となった。
- オンライン専用ブースの設置、Web会議用アカウントの取得によりWeb会議の利用促進に寄与。
- ペーパーストックレス化により、一人当たりの複合機からの印刷量は20%以上削減。

住民

## サービスの向上



現在の部長席



話し  
かけやすい!

総合案内の設置



# まとめ

## プレゼン中に漏れた本音

- ・(内外問わず)周囲から取組への理解を得られるまでが非常に大変だった…。
- ・様々な案件やリクエストに一人～少人数で対応していた…。
- ・非営利活動法人の活動は、無報酬で行っている…。

## 行革甲子園2022後に寄せられた声

- ・昨今の様々な厳しい状況の中でも、澁瀨と創意工夫を凝らして取り組んでいる皆様がいるということを知り、とても勇気を与えられました。
- ・今後も日々「行革」できることを探しながら業務に励みます。
- ・2年前にもエントリーをしていましたが、予選敗退。今回、念願かなっての参加でしたので、喜びもひとしおでした。
- ・質問をいただき、確実に「種」を撒けたことを実感している次第です。

✓ 行革に当たっては、イニシャルコスト(時間、労力、費用)が生じており、その先の効果を見据えて取組に挑んだ団体が成果を上げている。その際、段階的に成功を積み重ねるという工夫をしているものもあった。

✓ 行革後も、課題が残っている場合もあり、継続性が心配されるものもあった。

✓ なお、会の運営については、コロナ禍で懇親会が無くなったことにより、参加者の意見交換の機会を十分に確保できなかったなどの課題も…



段階的でサステイナブルな行革も魅力的

※みなさまが審査員だったら、グランプリはどこですか？